

参加者募集

全日教連
中四国ブロック会
議(本県開催)

10月13日(土)

13:00 受付
13:30 講演会等
18:30 懇親会

14日(日)

9:30 分科会
・組織連携・拡大
・幼稚園部
・特別支援教育
・健康教育
・生徒指導
11:40 閉会行事

詳細は別紙
または
ホームページを!
▼申込締切9/13木

全日教連「青年フォーラム」開催

八月二十二・二十三日、東京の都市センターホテルにて、全日教連主催の青年フォーラムが開催された。これは、全国各単位団体の次期リーダーに対し、組織理解と、教育専門職としての意識を高め、組織の活性化を図ることを目的として毎年開催されている。本年度島教協からは、手銭俊夫教諭(出雲・神戸川小)と石原事務局長が参加した。

△手銭教諭の感想▽
全国の仲間と過ごす二日間は大変有意義なものでした。

今日の教育的課題にどう向き合えばよいかを検討したり、情報交換をしたりしました。全国の仲間と話をすることで、新たな発見や驚き、大きな刺激を受けることができました。自分ではがんばって仕事をしていたつもりでしたが、「もつとがんばらなくては…」という気持ちになりました。

参議院議員義家弘介氏(ヤンキー先生で有名)の講演会も強く印象に残りました。氏は、過去の経歴や生徒指導面での活躍などが脚光を浴びていますが、教師が今しなければならぬこととして「第一に圧倒的な授業力を身につけることである」と話されました。自信も教壇に立つ前、授業力向上を目指して学習塾で五年間、夜中まで格闘したそうです。授業で子どもを引きつけ、真剣に向かい合うこと



国会議事堂前で

は生徒指導の面でも大きな効果があると熱く語られました。今後も教育の正常化のために全力を尽くすと決意を述べられました。私も、義家氏に負けないよう、熱い気持ちを持って仕事に臨みたいと思いました。

参議院議員

義家弘介氏と教育懇談会

八月二十三日(木)、自民党本部において参議院議員の義家弘介氏との教育懇談会が開かれた。教育に対する思いを熱く語られる中で、教育委員会の改革と教師の資質、あり方について次のように述べた。



教育への思いを語る義家参議院議員

- ・ 形骸化している教育委員会を実体化し、教師支援の教育委員会としていく。
- ・ 雑務が忙しいから授業の準備ができない。これはプロフェッショナルとして失格。
- ・ ダメなことをダメといえないで何が教師か。
- ・ 最も大事なのは授業。これは教師の生命線である。

専従から

ありがとうございます

今年度は、会員の皆様に「学校紹介」をお願いしています。また、七月、八月には三十校の学校を訪問させていただきました。お忙しいにもかかわらず、お時間をとっていただき、本当にありがとうございます。一日で訪問できる学校・園の数は多くありませんが、なんとか現場の声を行政に伝えていきたいという思いでまわらせていただいています。

これから訪問させていただく学校・園についても、できるだけ事前にご連絡をしながら伺おうと思います。修学旅行、体育祭、文化祭、学習発表会と行事の多い二学期です。ご挨拶で終わるといふこともございますが、伺った際には「学校紹介」の文書をいただける喜びます。どうぞよろしくお願ひします。

十月の中四国ブロック会議(出雲)、平山諭先生(倉敷市立短期大学教授)講演会。十一月の教育シンポジウム(高知)。十二月は生徒指導スキルアップ月間として、原田隆史先生と阪根健二先生(香川大学准教授)の講演会を予定しています。皆様のたくさんのご参加をお待ちしています。

「財政健全化基本方針(案)の骨子」

八月二十日に県から出された「財政健全化基本方針(案)の骨子」では、今後も引き続き給与カットを行うことが示された。今回は、要点だけはあるが、九月中旬には、カット率、期間なども示される見通しである。

県財政は、非常に逼迫した状況が続いており、給与の6%カットが今年度延長して行われている。県は、五月に有識者で構成される「改革推進会議」を設置し、この会から八月八日に「県財政の健全化のための提言」が提出された。また、八月九日には、県庁の若手職員有志のグループから「財政改革のため提言」が提出された。

こうした提言を踏まえて九月中旬には「財政健全化のための基本方針(案)」が出される見通しである。このほど県から示されたのは、改革を進めるにあたっての基本的な考え方、骨子である。

県財政は、現状のままでは三年後に基金が枯渇するという状況にある。そこで、概ね十年後において、一定程度の規模の基金を確保した上で収支均衡の状態にしたい考えである。このため、平成二十年度から平成二十三年度までの四年間を集中改革期間とし、抜本的な改革を集中して実行していく。具体的な取り組みとして、①行政の効率化・スリム化、②事務事業の見直し、③財源の確保等があがっている。

△総人件費の抑制▽

- ア 職員定数削減計画の上乗せ
- イ 手当の見直し
- ウ 給与の特例減額(給与カット)の継続

一番気になる給与カットについては、率、期間ともに現段階でははっきりしていない。九月中旬に出される「基本方針」でこれらがあきらかになる。

私たち教職員は、日々プライベートの時間を削って、明日の島根を担う子供たちのため職務に専念している。しかし、職務内容は、複雑・多岐にわたる、多忙感が増している。このことは職員団体として、しっかりと県に伝えていきたい。

学校紹介

津和野町立日原小学校

清流高津川のせせらぎが聞こえる自然豊かな土地に私たちの日原小があります。全校119人の子ども達は、皆素直で、元気のよいあいさつを校舎いっぱい響かせています。

1階の給食室からは、お昼前になるとおいしそうな香りがプーンとただよってきて、日原っ子の元気の源となっています。

- ・平成20年度 県教研鹿足大会 授業公開会場校です。
- ・生活科、体育科の研究に取り組んでいます。

出雲市立北浜小学校

北浜小学校は十六島湾に面し、教室から海の見える学校です。全校児童63名で夏には釜浦海岸で磯遊びをし、みんなで採ったベ貝で汁を作って食べたり、魚やカニをとったりして遊びます。冬には高学年の児童が十六島海苔つみの体験も地域の方と一緒にします。海の自然に恵まれた、全校が仲のいい学校です。

会員の皆様からの「学校紹介」、「実践紹介」をお待ちしています。どうぞよろしくお願い致します。



県教員採用試験対策 講師研修会開催

8月26日(日)、出雲市内において「第4回講師研修会」を開催した。当日は、個人面接や模擬授業の研修を行った。奥井副所長からは、「ぶれない指導が大切、是非頑張ってもらいたい。教員としての確たる信念をもって臨んでほしい」と話があった。講師の皆様、ご健闘をお祈りします。



挨拶をする奥井副所長